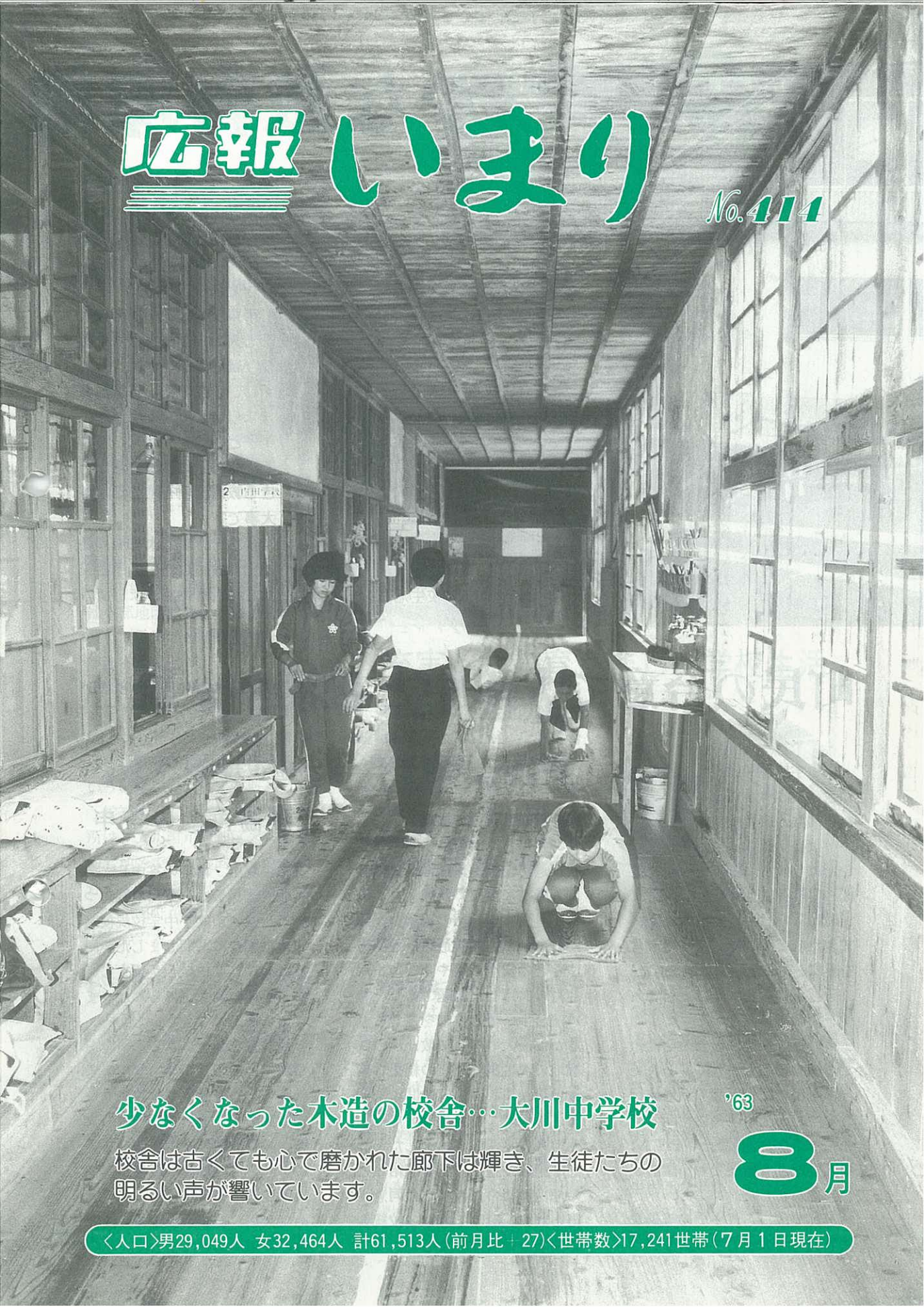


広報 いまり

No.414



少なくなった木造の校舎…大川中学校

校舎は古くても心で磨かれた廊下は輝き、生徒たちの
明るい声が響いています。

'63

8月

〈人口〉男29,049人 女32,464人 計61,513人(前月比+27)〈世帯数〉17,241世帯(7月1日現在)

学校規模適
正化を考える

豊かな教育環境

伊万里中学校が2つの学校に分離します。昭和66年春の開校を目指し、造成工事が始まりました。

市東部地区の小規模校である大川中学校と松浦中学校が統合することになり、新しい学校の建設予定地も決まりました。

子どもたちが活気に満ちて、充実した学校生活ができる教育環境を創ることが大事です。

統合、分離による規模適正化。今月は、このことを皆さんと考えてみましょう。

(きょうも笑顔で始まる学校生活…松浦中)

町民の合意で大川中と松浦中が統合

小中学校規模適正化計画に基づき、市教育委員会が進めていた東部地区統合中学校は、大川中学校と松浦中学校が統合することになり、このほど統合中学校の建設予定地が決まりました。

昭和57年11月から取り組まれてきた統合問題は、7年の歳月を経て、やっと結論が出ました。

子どもの教育問題にとどまらず、校区を単位とするコミュニティの形成や地域社会の活性化などへの影響も大きく、それだけに町民の関心が高く、地域行政の中心となる区長会や明るいまちづくり推進協議会、PTA、婦人会など各階層で熱い議論がかわされました。

それでは、これまでの経過を振り返ってみましょう。

3校統合実現せず

〔3校統合推進の経過〕

57年11月、3町による中学校規模適正化推進東部地区協議会（芳野文彦会長）が発足し、61年1月までに15回の協議会が開かれました。通学道路、通学方法などの安全対策や非行防止が3町の共通した課題であり、特に統合中学校の位置をどこにするかが最大の焦点。数か所の候補地の現地調査などの結果、南波多と大川、松浦町の間にあるえざらぎ峠より東側の大川町川西地区の案が出されましたが、通学距離や道路の冬季凍結などの理由により南波多町の同意が得られず、61年1月、3校統合の協議会は解散しました。

適正規模校に近い

市協再度の答申

〔市協議会 再度の答申〕

教育委員会は、東部地区について再度、市立小中学校規模適正化協議会に諮問しました。同協議会は、3校統合が望ましいが、町民の同意を得られないままでの推進はできないとして、3校統合を断念。さらに検討を重ねて、大川、松浦中学校の現状から、教育効果や学校経営をより高めること、老朽校舎の改善、教育設備の充実などが必要であり、生徒数、学級数が適正規模校にはやや足りないが、改めて大川、松浦中学校の2校統合の答申が出されました。

を求めて

教育委員会に一任

〔2校統合推進の経過〕

大川、松浦の2町では、区長会や町協議会などで検討を重ねて、2校統合を推進することで合意し、東部地区協議会が61年5月に発足しました。

松浦川をはさんだ両町の地理的条件や統合することにより遠くなる通学距離の問題など、3校統合のときと同様の考え方や意見が出され、話し合いは一進一退。

この間、町協議会による地区説明会や先進地の武雄北中学校、北方中学校の視察、62年8月には東部地区協議会小委員会を設置して候補地の現地調査などが実施されました。

63年1月、第5回の協議会において、統合中学校の建設候補地2か所を選び、最終決定については教育委員会に一任するという結論が出されました。

候補地として選定された2か所は、大川町川原地区と松浦町梅岩地区で、地形的、地理的条件や通学距離などを慎重に検討して、両町が譲歩した形で選んだものです。

松浦町梅岩地区に決定

東部地区協議会の答申を受けた教育委員会は、地形、地質、日照、通学距離などを比較検討して、より教育環境に適した場所として松浦町の梅岩地区を統合中学校の予定地に決定しました、この決定は、63年6月8日の東部地区協議会に伝えられました。



充実した教育と楽しい学校生活

東部地区の統合推進の経過を説明してきましたが、なぜ統合が進められるのか、その必要性、利点(効果)、問題点などに触れてみましょう。基本的なことは後述することにして、ここでは東部地区にしぼって話を進めることにします。

適切な学習指導

〔専科教師による充実した授業〕

生徒数は、若干の増減があるだけで、ほぼ現在のままで推移することから、学級数も先生の数もほぼ変わらない状態が続きそうです。そうなると大川、松浦中学校も含めて、現在市内の小規模校で行われている教科の免許を持たない先生による授業が続けられることになります。このことは、より充実した学習



①ただ今、授業中(大川中)

を求める生徒や複数の教科を教えなければならない先生のどちらにとっても好ましいことではありません。また、統合すると個別指導がやや困難となるマイナス面がありますが、免許外授業がなくなると、同じ教科の先生相互の研修、男女別コースの教科での適切な学習指導などの良い面が出てきます。

希望する部活動が できる

〔楽しい部活動〕

小規模校では、野球、バレーボール、陸上などごく限られた部活動しかできませんが、適正規模校では、バスケットボールやサッカー、新体操、コーラス、ブラスバンドなどができます。部活動は、生徒にとって大きな関心ごとであり、楽しい部活動の範囲が広がります。

広々とした明るい学校

〔整った学校施設〕

校舎がかなり老朽化しているため、改築する時期にきています。

大川中学校は22～24年、松浦中学校は25～26年にそれぞれ建てられ、外壁や窓などのいたみが激しく、冬には教室に雪が吹き込むこともたびたびあります。

大川・松浦中学校と統合中学校の学校規模予測

区分	学年	63年度			65年度			67年度		
		生徒数	学級数	先生数	生徒数	学級数	先生数	生徒数	学級数	先生数
大川中	1	46 ^人	2	人	47 ^人	2	人	47 ^人	2	人
	2	58	2		46	2		48	2	
	3	45	2		46	2		47	2	
	計	149	6	16	139	6	16	142	6	16
松浦中	1	36	1		46	2		53	2	
	2	47	2		41	2		48	2	
	3	55	2		36	1		46	2	
	計	138	5	12	123	5	12	147	6	13
統合中	1	82	2		93	3		100	3	
	2	105	3		87	3		96	3	
	3	100	3		82	2		93	3	
	計	287	8	19	262	8	19	289	9	20

※昭和63年5月1日現在の児童、生徒数を基に推計（ただし、特殊学級にかかる生徒、学級を除く）



友だちが増えるけん、うれしなあ。

部員が増えて、強くなるぜ。

遠くなるから、いやだなあー。

◎大川中の運動部の生徒たち

運動場も必要面積に対して約30%が不足。水泳プールもありません。統合中学校になれば、現在の大川中の2倍に当たる、約

40,000平方メートルの学校敷地が確保され、明るい教室、充実した特別教室のある校舎や広々とした運動場などが整備されます。

登下校時の対策を十分に

教育活動や学校施設のことを考えてきましたが、次に通学道路や通学手段など学校周辺の環境整備に目を向けてみましょう。

通学道路の改善

〔通学の安全対策や道路整備〕

統合することによって通学距離が遠くなり、交通量の多い県道や幹線道路、集落から離れた道路、冬季や部活動で下校が遅くなる場合の安全対策など通学上の問題は、協議会や地区説明会などの場でいつも出てきました。これらの問題は、当然解決されなければならないことです。

統合することによる通学距離の長短は地理的条件からやむをえないことですが、これまでの2.1キロが4.1キロになったり、逆の場合も出てきます。通学道路は、既存の道路を利用することになりますが、道路改良や歩道、自転車道、外灯などどうしても必要な所は整備しなければなりま

せん。また、協議会からの要望で川原地区から松浦川と鉄道を横断して梅岩地区に至る道路と橋の新設が出ていますが、通学にとって必要であり、整備される計画です。このほか大川、松浦地区の農免道路が計画されていることから通学道路が次第に改善されることとなります。

これによって、例えば川原地区は、現在3.5時間の通学距離ですが、統合後には遠回りしての4.6時間が、橋が架かることによりわずか1時間に、長野地区も短くなります。東田代も農免道路ができればかなり短縮されます。

通学費の助成

自転車通学も増えますが、バスで通学する生徒も出てくると思われます。

路線バスは、生徒の通学だけでなく、地域住民の日常生活に欠かせない交通手段ですが、赤字路線ということで、市や地元が負担して運行が続けられているところもあります。統合後は、バスで通学する遠距離の生徒のために、赤字路線バスの存続や定期券代の父兄負担の軽減など、適切な対策を講じていく必要があります。

町民が広い視野を

自然に囲まれたすばらしい環境に新しい学校が建ち、大川と松浦の中学生と一緒に学校生活を送ることになりますが、お互いに協力して活気に満ちた学校が一日も早く来るようにしなければなりません。

いじめや非行を心配する声も

農作業の途中、昼食のため自宅に帰られた平山さん夫婦を訪ね、話を聞きました。東田代地区では、統合問題とあわせて、地区の過疎化という深刻な悩みを抱えています。

通学面での整備を



大川町東田代

平山 修さん

(40)

小学1年生の男の子がいます。本音を言えば、単独校として残してもらいたいと思います。ただ、同級生が少ないうえに保育園から一緒なので競争心がわか

ないようなところもあって、学力とか施設面を考えると統合したほうがよくなると思いますが…。問題は通学方法だと思います。統合すれば学校まで8.3時間になるし、部活動などしていたら1本しかない4時8分のバスには間に合いませんからね。すぐ下の集落の筒江からは2.7時間、急な登り坂が続く、外灯もない山道なので、特に女の子は心配です。学校が遠すぎるので東田代を出て行った世帯もあるくらいに、私たちにとっては深刻な問題なんです。

現段階で統合はやむをえないかもしれませんが、とにかく通いやすいように通学面での整備をしっかりとしてほしいと思います。

心の統合を



松浦町下分 松尾加奈さん(36)
康平くん(3)

聞かれますが、これまで以上に協調性や社会性を高める教育活動が必要になってきます。また、PTAや地域活動などコミュニティづくりを活発に行って意志の疎通を図るとともに、親はもちろんのこと、両町民がこれまでの意識を変えて、広い視野をもって見守ることが最も大事なことでないでしょうか。

子どもは、小学生2人とこの子の3人です。私も2つの小学校を校区にする中学校に行きました。最初はお互いにけん制し合ったりして不安でしたが、次第に仲よくなり、良い意味でのライバル意識があって、よく頑張ったものです。松浦と大川の統合中学校の予定地も決まったと聞いていますが、遠い子はいへんでしょね。自転車通学の事故とか、部活動で遅くなる時などが心配です。

統合は、学校を建てたら終わりではなく、異なった環境で育った子どもたちの心をつなぐことが真の統合だと思います。学力向上や安全対策だけでなく、いじめや非行などがないようにしてほしいですね。私の子どもも、やがて統合中学校にお世話になりますが、安心して通える学校を期待しています。

答申の具体的内容

小 学 校

大坪小学校	2校に分離する (S59.4 大坪小と立花小に分離)
黒川小学校	
黒川小・立目分校	2校・1分校を統合する (S61.4 3校統合)
東黒川小学校	
南波多小学校	2校を統合する
波多川小学校	
滝野小学校	分校を本校に統合する (S59.4 3校統合)
滝野小・下分分校	
滝野小・日南郷分校	

中 学 校

伊万里中学校	2校に分離する (S66.4 2校に分離予定)
黒川中学校	
波多津中学校	2校を統合する
南波多中学校	3校を統合する
大川中学校	
松浦中学校	
国見中学校	2校を統合する
滝野中学校	

生徒数の減少は 教職員の減少に

中学校の生徒数は、昭和40年度には5,817人いましたが、45年度は4,150人に、さらに50年度は3,047人と大幅に減少しています。これは、この10年間で生徒のほぼ2人に1人がいなくなったこととなります。

この主な原因は、30年代後半から40年代の半ばまで続いた炭坑閉山と、都市への人口流出による全市的な人口の減少によるものと思われます。

67年度と40年度を比べてみると、滝野中学校は6分の1に、大川中学校は4分の1に、波多津中学校と山代中学校は3分の

市学校規模適正化協議会の答申

市立小中学校の規模適正化は、昭和49年に市で初めて作成された伊万里市総合計画（マスタープラン）に、小規模校の統合、大規模校の分離の方針が打ち出されました。以来、市議会や教育委員会などで検討が重ねられ、市民へのアンケート調査の結果なども踏まえ原案を作成し、56年12月伊万里市立小中学校規模適正化協議会に諮問しました。

同協議会は、それぞれの学校別に児童・生徒数や学級数、通学問題、適正な教職員の配置、施設・設備の整備など、あらゆる

角度からの研究を行い、57年8月学校規模適正化についての答申を行いました。

答申は、小学校については1町1校を基本原則として統合・分離を行うという考えにたち、①小規模校のうち、著しく児童数の少ない過小規模校だけを統合する。

②分校はすべて統合する。

中学校については、全市の立場にたって統合・分離を行うべきであるというものでした。具体的には左の表のとおり実施するものとされています。

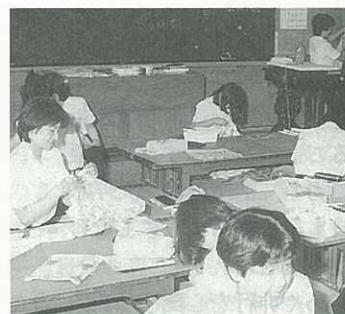
中 学 校 生 徒 数 の 推 計

年 度	40	45	50	63	67
伊 万 里	1,686人	1,287人	1,132人	1,290人	771人
新伊中(仮称)	—	—	—	—	470
黒 川	324	221	172	189	179
波 多 津	395	314	200	147	137
南 波 多	361	246	202	156	167
大 川	630	447	188	150	145
松 浦	360	248	214	138	149
国 見	958	689	444	489	516
滝 野	116	94	62	27	21
山 代	987	604	433	403	355
計	5,817	4,150	3,047	2,989	2,910

※67年度は、現在の児童、生徒数が進級、進学したものと推計。
40～63年度は、学校基本調査(毎年5月1日現在)による。

1にと、生徒数が著しく減少することが見込まれます。

生徒数の減少は、当然学級数の減少をもたらし、学級数で決められる教職員の数も減少することとなります。そしてこのことは免許外授業の要因となり、またクラブ活動や部活動の範囲を制限する要因となります。



◎家庭科でスカートづくり (松浦中)

なぜ 適正規模がいいのでしょうか

適正規模の学校とはどのくらいの規模の学校をいうのでしょうか。また、統合・分離によって適正規模、あるいはそれに近くした場合、どんな効果があるのでしょうか。

学校の規模は、小中学校とも

「学級数は12学級以上18学級以下を標準とする」と学校教育法施行規則に定められています。これを基に12~18学級が適正規模といわれ、11学級以下の学校が小規模校、19学級以上の学校が大規模校といわれています。

市内小中学校の学級数

(昭和63年度)

学級数	3	4	5	6	7	8	11	12	13	14	15	16	17	18	19	22	23	32	計
小学校		1		5	1	1		3	1	1	1				1	1	1		17
中学校	1		2	2	1		1	1										1	9

現在適正規模といわれる学校は、小学校17校のうち6校、中学校9校のうち1校だけです。

それでは、統合・分離によって適正規模にした場合、どんな利点があるのでしょうか。

〔小規模校を統合した場合〕

- ①多くの生徒と交流することにより経験範囲が広がり、適当な競争心も加わって学習意欲の向上が期待できる。
- ②中学校の場合、免許外授業がなくなり、専門の教職員の教えにより学習が深まる。教職員の立場からも1人1教科担当となり、専門が生かされる。
- ③クラブ活動や部活動の範囲が広がり、生徒が希望するものを選べるようになる。
- ④教育施設や設備など物質面で条件が有利になる。



①給食前の校内清掃(松浦中)

〔大規模校を分離した場合〕

- ①大規模校にありがちな無関心が少なくなり、学級でもクラブ活動でも自主的な参加の度が高まる。
 - ②児童・生徒間や教職員との触れあう機会が多くなり、連帯感が生まれ、個別指導の機会が増える。
- このように、規模適正化に伴う教育的効果は、児童・生徒の立場からだけでなく、教職員の立場からも大きなものがあるといわれています。

しかし、規模適正化に当たっては、教職員と児童・生徒との人間的ふれあいや個別指導の面で、小規模校ならではの教育上の利点があることや、通学距離、通学時間が子どもたちの心身に与える影響、安全性などを十分に配慮しなければなりません。また、中学校の統合については、2つの町にまたがる問題であり、学校がもっている地域的な影響などを考慮し、地域住民の理解と協力を得て行わなければなりません。

ちょうど30年前、統合中学校を経験した松尾さんは、今中学生を頭に3人の子どもの父親です。忙しい会社経営の合間に、中学生当時の心境をお尋ねしました。子育て論などを交えながら熱心に話されました。

新しい出会いに 新鮮さを…



二里町江湖辻
松尾 浩
さん(43)

昭和33年5月、私が中学2年のとき二里と東山代の中学校が統合して国見中学校になりました。そのときは校舎がまだ建っていなかったため、西校舎(二里中)と東校舎(東山代中)にわかれての授業でしたが、翌年の4月から新校舎で一緒に勉強しました。

当時は、卒業まであと2年ということと、よその子と一緒にいる不安があったので、正直言って統合しない方がよいと思いました。でも、すぐ友達になったし、親しくなった東山代の子と家に行き来するなど、新しい出会いを新鮮に感じました。今考えてみると、親や周りの大人が心配するほどでもなかったようだったし、統合は良かったように思います。

私の子どもも国見中に2人、二里小に1人行っていますが、東山代小の子と同じ中学校に行くことをあたりまえと思っているようです。

自然呼吸

適正化のあゆみ

- S31.4 波多津小筒井分校と大平小が統合して波多津東小開校（274人）
- 33.5 二里中と東山代中が統合して国見中開校（795人）
- 38.3 東田代分校閉校（19人）し、大川小へ
- 44.3 立川分校閉校（99人）し、大川小へ
- 59.3 滝野小下分分校54～58年度休校。同校日南郷分校58年度休校。両分校59年3月閉校し、滝野小へ
- 59.4 大坪小が2校に分離、立花小開校（705人）
- 61.4 黒川小と同校立目分校、東黒川小が統合（391人）

これからの適正化

市は、小中学校規模適正化協議会の答申に基づき、これまで小学校については、滝野小学校の2分校の本校統合、大坪小学校の分離、黒川小学校の2校1分校の統合を終えました。中学校では昭和66年に伊万里中学校を分離することで既に造成工事が始まっています。大川中学校と松浦中学校の統合については、両町の合意ができ、統合中学校の建設予定地が決定したところ です。

今後、南波多小学校と波多川小学校の統合、黒川中学校と波多津中学校の統合、国見中学校と滝野中学校の統合問題が残されていますが、これらについては、教育効果、校舎の老朽度、地域的な課題などを総合的に考えて計画的に適正化を進めていくことにしています。



栄子さんの話

立目分校は人数が少ないせいか非行もなく、勉強もよく指導してもらい、すべてが行き届いていてとても良かった。授業参観などは家から近いので、おじいちゃんやおばあちゃんまでみえられ、児童の数より父母たちの数が多く、親子のふれあいもできていました。だから統合の話聞いたときはショックでした。遠くなるし、小さい学校から大きい学校になって、友達ができるか心配でした。

でも友達はすぐできたし、校

すぐ友達が できたので…

黒川町牟田

小島 栄子さん(37)
まさつぐ
正嗣くん(11)

舎はきれいで教育設備もよくそろっていて、こんなところで勉強できて幸せだなと思いました。正嗣くんの話

知らない人といっしょになるのが嫌だった。でもすぐ友達が増えたと、今の方がおもしろい。帰りのバスは2時49分と5時11分の2本。2時のバスに乗れないときは、5時まで学校で友達と遊んで帰ります。たまに歩いて帰るときもあるけど、歩いたら1時間以上かかります。今、立目分校にはなかった剣道クラブに入って頑張っています。

子どもの側に立って



市教育委員会
学校教育課長
つとむ
筒井 恣(58)

国では、臨時教育審議会の答申を受けて改革が進められているところですが、市においても将来の展望に立った教育改革の諸施策を企画・推進しているところです。

学校の適正規模化もその一つです。このたび大川、松浦町民皆さんのたいへんご苦勞により、大川中と松浦中が統合することになり、新しい学校の建設

予定地の決定まで済ませることができました。今後は、地元の方と協議しながら学校建設や環境整備を進めていきたいと考えています。分離、統合については、すでに述べられているとおりですが、この利点を生かし、また問題を克服して、教育効果を高めるといった目的を実現していきたいと思っています。

学校や教育のあり方は、そこに学び、将来を生きぬく子どもの側に立って考えていかなければなりません。教育委員会としても、まずこの考え方に立ち、さらに地域住民の方々の理解と協力を求めながら、規模適正化協議会の答申を尊重し、望ましい方向を目指して、誠意をもって努力していきたいと思っています。

県外客にも人気 大川内山キャンプ場

7月15日、関係者ら60人が集まり大川内山キャンプ場の開村式がありました。テント張りのバンガロー15基や研修施設などがあり、275人が宿泊することができます。

昨年は4,500人が利用しましたが、今年も福岡市内の子ども劇場から3泊4日で300人や鹿

児島からの家族連れなどの申し込みがあり、県外にもよく知られ、人気のあるキャンプ場になっています。9月5日まで開かれていますので、子ども会、グループ、家族連れでおいでください。申し込みは、キャンプ場管理事務所へご連絡ください。

(☎0955②1977)



㊦あいにくの雨の中、キャンプ場開き恒例のそうめん流し。

富村助役と 小山監査委員を再任



富村繁雄氏

(59)



小山 智氏

(60)

6月定例会市議会で、助役と監査委員の選任について同意を受けていた富村氏と小山氏が、7月28日と8月1日再任されました。富村氏は、昭和55年7月から助役を勤め、今期が3期目の助役就任となります。小山氏は、昭和59年から監査委員を勤め、今期が2期目の就任です。



佐賀県の港湾予算の中では伊万里湾が突出しているが、それは浦之崎の護岸事業や七つ島の公共ふ頭に加えて福田の海洋性レク基地や伊万里湾架橋が新たに認可になったからで、このいきおいはこしばらくは続きそうである。

中でも伊万里湾架橋は総事業費百六十億円で、市の今年当初予算が百四十三億円であるからいかに膨大な事業であるかがわかる。そこでせっかくだけでも見ただくならば橋だけでも見にきてもらえようなものにと先般東京の運輸省港湾局長さんと実際に架橋の設計・工事を担当される下関の運輸省第四港湾建設局長さんに陳情に赴いた。

どちらも山下代議士が運輸大臣の時の港湾事業企画のスタッフで代議士からも要請があつており、第四港湾ではいまだかつてない産・学・官に意見を求めるの取

り組みがなされ、地元意向を尊重して、できる限りの努力を約束された。

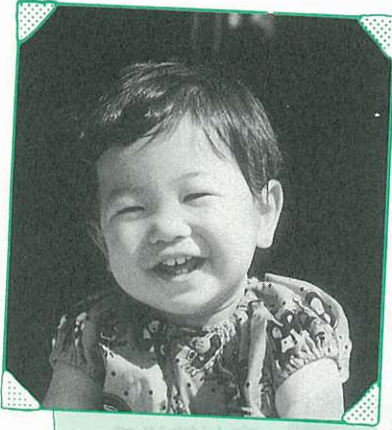
市としてはまずこれだけの事業なので架橋の意義を徹底するため「ザ・ブリッジ」作戦のキャッチフレーズで市政の重点施策として取り上げ、この橋を起点に

世界との懸け橋づくりをしてゆくこと、さらにいまはポストモダンイズムの時代で、車を走らせる機能と共に、町のシンボライズとなるようなものを考えてもらいたいこと。いま一つセラミックロードの起点として歴史

が感じられ、加えてニューイマリにふさわしい新しい息吹きの感じられるものと、こちらの考えは何もかも申し上げ、あわせてこちらのデッサンの二、三を提出してきた。

第四港湾局も局長以下五六名のスタッフをそろえて聞いていただき、伊万里市の考えかたとその熱意を賞賛され、力を合わせてすばらしい橋を造ろうということになった。

どんな橋名にするか市民皆さんもアイデアを出していただきたい。(竹内)



★ わが家のPOPOPO ★

井手 沙織ちゃん

(1歳)

一徳・時江さん長女

時々ぶちながらも、良くかわい
がってくれるお兄ちゃんは、
沙織の良いお手本。思いやりの
ある女の子になってください。
(南波多町原屋敷)

ほほえみひろは

この広場はみなさんのページです。
あなたの声をお寄せ下さい。

※申し込みを順次受け付けています。

毎日の食事で成人病予防を

市栄養改善協議会

伊万里市栄養改善協議会(小杉マツエ会長)は、毎日の食生活のなかから成人病を予防していこうと、年6回程度保健栄養教室を開いています。対象は各町食生活改善推進委員の代表で、この教室に参加した人が、婦人会各支部の末端まで成人病予防食が浸透するようさらに伝達講習を行っています。

成人病を予防するためには、運動、栄養、休養が必要といわ

れ、若いうちから食事に気をつけ、バランスのとれた栄養をとることが大切だと言われています。

同教室で行ったみそ汁の塩分テストでは、標準塩分量の2倍近く使われている家庭もありましたが、講習

伊万里町婦人会での伝達講習会



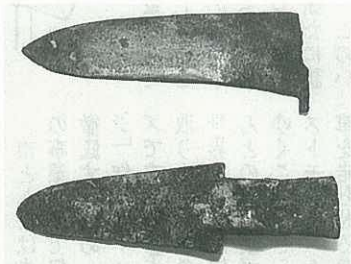
を重ねるたびに塩分量が減少し、講習の効果があらわれています。

郷土の文化財

〈指定文化財 No.19〉

どう
銅

か
戈



この2個体の戈は、昭和27年黒川中学校運動場拡張工事のとき発見されました。ともに青銅製のものです。(西アジア、ヨーロッパの金属器文化は、銅・青銅・鉄の時代を経て現代に至りますが、わが国

の初期金属器文化=弥生時代-紀元前300年~紀元後300年-は、この3つの時代を経ることなく大陸から水稻栽培とともに、すべての金属器が一度に入ってきました。)

戈は、柄の先端部に、両刃の刀を柄と直角に装着し、主に人の頸をとらえて殺傷する武器で、中国殷時代中期に出現しています。この青銅戈は、形態的な特徴からともに殷時代後期(紀元前1152年~1027年。わが国では縄文時代後期)のもので、出土した1例(写真下)は、有蓋銅戈(戈に柄を挿入するもの)で、基部に卍の刻印があり、全長19.8センチです。

全国でも出土例がなく、両青銅戈の由来などは今後の研究を待たなければなりません、非常に貴重な遺品です。

(市重要有形文化財(考古資料)48. 7. 20指定)

車で送っていただいたお礼を

東山代町里 真弓 カヨ

4月23日のことです。大久保で行われた東山代町のゲートボール大会で、私たち里クラブは男女とも優勝し、帰りが遅くなりました。足の丈夫な方は歩いて帰られましたが、私とお隣りのおばあさんは歩くのが不便なので、少し時間を待ってもバスで帰るといってバスを待っていました。しかし、1時間半待ってもバスは来ず、日はだんだん沈んできました。そこで私の友人の水町さんからつえをもらって、ぼちぼち下りかけました。天神様の下までできたところ、赤い車が止まっていたので、「どちらの方まで行かれるので

すか」と尋ね、事情を話しましたら、「方角は違いますが、里にまわって送らしましょう」と言って、早速車で送っていただきました。

そのときのうれしさ、ありがたさは例えようがなく、ただうれしさ一杯で、涙が出るばかりでした。住所とお名前をいくら尋ねても教えてもらえず、最後に浦川内とだけ教えてもらったので、あちこち尋ねてみましたがわかりません。

甚だ失礼とは存じますが、広報いまりの紙面をおかりしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



山口真由美さん(21)
南波多町古里(A型、魚座)

「歯の健康フェア」でミス・デンタル・スマイルに輝いた真由美さんは、佐賀銀行4年目の笑顔のすてきなお嬢さん。くよくよしない性分で、傷心からの立ち直りも早いとか。スポーツが好きで、バレーボールは中学から。でもちょっぴり太り気味が気になるそうです。「抱擁力のある男性が好き。だれか……」

四季の詩

誰もぬぬ園に腰かけ思ひきり

吾が身の暑き風に放ちぬ

瑞穂町 藤 道子

望郷の航継ぐ我子に金の月

脇野野脇田 瀬戸口浪花



<同和教育 No54>

国民的課題としての人権

今年は、1948年に人権宣言が成立して40年になります。第二次世界大戦で多くの人の命を失ったことは、国際連合を中心に「人権の尊重」と「差別の撤廃」を人類共通の課題として、大きく取り上げられました。

人間には、人種、性別、年齢の違いや、能力、学歴、職業の違いなど、それぞれの個性があります。しかし、これらは単なる区別です。なのに、例えば人種によって優劣があるという偏見から、社会的不平等、差別、隔離などを合理化する考え方があります。現在南アフリカ共和国における人種隔離政策などは、

その代表的なものではないでしょうか。わが国における同和教育も、本来は平等であり、対等関係にあるはずなのに、自分の生まれた家が被差別地区であったというただ一つの偶然によって、生死にもかかわる「差別」を受けている人たちが現実にあるのです。

幸せな社会は、みんなの正しい理解や認識に基づいた行動でつくりだすものです。

私たちひとりひとりが相手の立場に立ってものを考え、お互いの人権を守って、差別のない平等で平和な明るい社会をつくりましょう。

わがまち自慢

題字は竹内通教市長

NO.10

心浮き立つ浮立の音

山代町「飯盛会」で伝統継承

チャーリーライライ チャーリーライ。これは私の町のお供日の笛の最初の音色です。私はこの音色に特別な感慨をもって

います。

私の町でも古くから浮立が行われ、代々立派に受け継がれてきています。私ももの心がついたところからお供日といえば必ず笛の音が聞こえることで、心は浮き立ち、楽しさが大きくなったものです。このすばらしい伝統を次の世代にも伝えていこうという仲間が集まってつくられた「飯盛会」



①夏祭りの出し物を練習する飯盛会

♥自慢する人



山代町久原1区

高峰 修

さん(45)

(会社員)

に私も入っています。笛や太鼓を先輩諸氏が熱心に教えてくださいますので、こちらもつい懸命にならざるを得ません。このように、地域の行事を通じて先輩と私たち、そして子どもたちとのふれあいの機会を多くもつことができるのは大へん嬉しいことです。

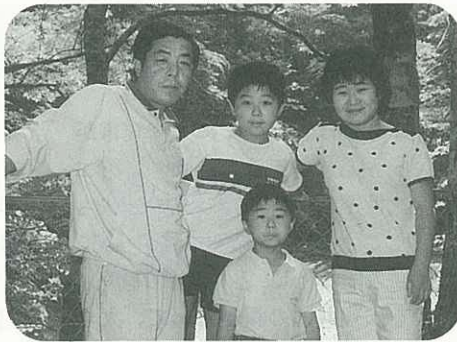
東には青い伊万里湾、西には城山を仰ぎ、新鮮な魚と四季折々の山菜に恵まれ、そして良い行事をいっぱい伝承しているこの町が私は大好きです。



美しい 北海道の夏

北海道は空の玄関 千歳に住んで、すでに18年がたちました。近くには、国立公園の支笏湖やウトナイ沼があり、苫小牧まで30分、札幌まで50分です。

冬の北海道は銀世界。でも夏には、花が一斉に咲き乱れます。九州に居たころは、別世界のよ



千歳市住吉

山口 茂さん(43)

実幸さん(37)

孝司くん(長男・小4)

裕二くん(次男・小1)

うな感じでしたが、住めば都です。人口も伊万里とほぼ同じくらいです。出身は、山代町の

浦ノ崎で、たまに帰郷していますが、年々ど町並みがきれいになって見違えるようです。やはり生まれ、育ったふるさと伊万里が大好きです。2人の子どもは道産子ですが、妻も同郷(鳴石)なので、ふるさとの話に花を咲かせています。伊万里は、焼き物の里ですが、全国的には有田が有名ですから、もっと伊万里をPRしてほしいですね。

結婚して4、5年したら九州へ帰るつもりでしたが、子どもの学校や家を建てた関係で当分の間帰れそうにありません。広報いまりを送ってもらって18年。ふるさとのことが手にとるようになり、うれしく思っています。北海道の夏は最高に美しい季節です。一度おいでください。

黒川町チーム初優勝飾る 市長旗争奪青年相撲大会



7月3日、国見台相撲場で行われた第5回市長旗争奪伊万里市青年相撲大会で、黒川町チームが念願の初優勝を勝ちとりました。大会には市内6町から6チームが参加してリーグ戦で争われ、張り手をまじえた突き押しなど、気合の入った取り組みが行われました。

これまで過去4回の大会は、すべて二里町が優勝しており、黒川町チームは見事、二里町の

5連覇を阻みました。上位の成績は次のとおりです。(敬称略)

(団体戦) 優勝 黒川町
準優勝 二里町 3位 松浦町
(個人戦) 30歳以上の部
優勝 二見洋一(大坪町)
準優勝 前田均(二里町)
3位 前田由之(二里町)
30歳未満の部
優勝 原義浩(松浦町)
準優勝 長野洋之(黒川町)
3位 田代直樹(大川町)

8月のスポーツ

7日(日)

- 黒川町民球技大会
8時 黒川小学校
- 山代町子ども会ソフト大会
8時半 山代中 山代東小^{ほか}

15日(月)

- 山代町民球技大会
7時45分 山代中、山代東小^{ほか}

16日(火)

- 松浦町バレーボール大会
8時半 松浦小、中学校

17日(水)

- 伊万里市子ども会ソフト大会
8時半 国見台球技場

18日(木)～31日(水)

- 黒川町ナイターバレー大会
20時 黒川中学校

21日(日)

- 山代町高校生球技大会
14時 山代東小学校

28日(日)

- 波多津町民球技大会
7時半 波多津小、中学校^{ほか}
- 南波多町民球技大会
7時半 南波多中学校
- 東山代町民体育大会
8時 東山代小学校

伊万里ソフトボールクラブ

全国大会へ連続出場

伊万里ソフトボールクラブ(桐原哲郎監督、17人)が、6月11日と12日、佐賀市で行われた九州地区予選でベスト4に勝ち残り、2年連続で全日本クラブ選手権大会への出場を決めました。同チームは、去年行われたソフトボール発祥100年記念大会に、県代表として伊万里市から初めての全国大会に出場し、見事ベスト8入りを果たしました。

今年の全国大会は8月15日～17日、青森県上北郡野辺地町で行われ、各地区予選を勝ち抜いた32チームが優勝を目指します。





松浦川を清掃

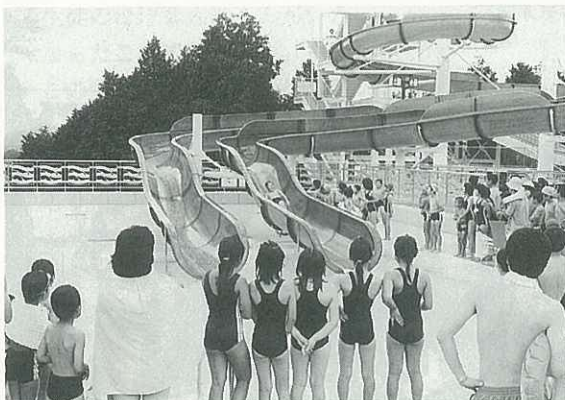
7月5日、大川町の松浦川改修促進期成会（芳野文彦会長）と漁業協同組合（井手 誠組合長、20人）が町内を流れる松浦川を3時間かけて清掃しました。九州地方建設局武雄工事事務所や市建設部も応援して、約40人が3班に分かれての大清掃。過去の水害で流失した6メートルの巨木やコンクリート製欄干をクレーン車で引き上げたり、水際の柳をチェーンソーで伐採するなどたいへんな作業でした。期成会と組合では、郷土の川をいつまでもきれいにしようと、今後も清掃を続けることにしています。



ジェットスクリースライダー登場

佐賀厚生年金休暇センターにジェットスクリースライダーと25径の競泳プールが完成し、連日チビっ子たちにぎわっています。

今年から新しく加わったスライダーは、長さが110径と80径の2本で、14径の高さから曲がりくねったコースを流水といっしょに滑り落ちるもので、チビっ子たちの人気を集めています。



21世紀イメージスケッチ展

21世紀の伊万里を描いたイメージスケッチ原画展が市街地の銀行などで開かれています。

先月16日に伊万里21世紀懇話会（貞方英嗣座長、15人）が3年半かけて研究してまとめた提言書「伊万里21世紀シティルネッサンス」を竹内市長に提出しましたが、多くの市民に見て、考えてもらおうと、7月7日から開いているものです。提言書は、伊万里のあるべき姿を5つの顔を持つ快適都市空間を創造し、14枚のイメージスケッチを描いています。同展は、スケッチ原画と提言書のコピーもあり、自由に見られ、8月末まで開かれる予定です。



●どんなお願いをしたのかな？
（大川保育園）

防火七夕をプレゼント

市消防署東分署（古竹亀雄分署長、8人）は、7月6日管轄地区内にある大川、松浦、南波多の3保育園に、七夕用のささやぞうのぬいぐるみ、火の用心の絵馬、119羽の折りづるをプレゼントしました。園児たちは、早速自分たちで作ったUFOや名前を書いたたんざくをささに飾りつけました。

にぎわう土曜夜市

7月16日から商店街恒例の土曜夜市が始まりました。いすい通り、銀天街、本町、駅通りとそれぞれの商店街で趣向を凝らしたイベントが行われ、家族連れや友達どうしでにぎわっています。土曜夜市は8月6日まで行われます。

10日は花火大会（イベントは15時から、花火は20時から、伊万里川河畔）、13日は盆踊り（19時～22時、駅通り）が行われます。夕涼みがてら、夏の夜のイベントを楽しんでみませんか。



狙いを定めて、ヤツ…入ったかな。



養護学校で交通教室

7月12日、県立伊万里養護学校（指山 至校長、200人）で交通教室が開かれ、交通指導員7人が自転車の乗り方などについて指導をしました。

自転車で通学する児童、生徒はいませんが、夏休みには全員がそれぞれの家庭に帰り、自転車に乗る機会が多くなるので、正しい自転車の乗り方と交通知識を身につけようといわれました。

交通安全マイシティ14時作戦

夏の交通安全県民運動初日の7月21日、市交通対策協議会と市交通安全協会は、市内各地区で「交通安全マイシティ14時」作戦を展開しました。夏場の交通事故が多発する午後2時を合図に、全市一斉にアラーム作戦やPR活動を行い、夏場に多い過労（居眠り）による交通事故の防止と、交通安全意識の高揚を図りました。



30年ぶりに祇園さんの市

7月14日、大坪町祇園町にある八坂神社で、約30年ぶりに「祇園さんの市」が復活しました。以前はにぎやかに市が行われていましたが、自然になくなっていました。柳井町、祇園町、六仙寺の3地区の話し合いで、子どもたちの思い出づくりと、お年寄りには昔を思い出して懐かしんでもらおうと、今回の祇園さんの市が計画されました。

境内にはかき氷や綿菓子、金魚すくいの店が並び、ステージではカラオケ大会とバナナの叩き売りが行われ、訪れた人は久しぶりの市を楽しみました。

精霊流しは指定の所で

お盆の風物詩「精霊流し」川面に映る灯りは風情がありますね。でも流された精霊船などは川や海を汚してしまいます。

市は回収のために時間と場所を指定していますので、みなさんのご協力をお願いします。

- 日 時 8月15日(月)
午後8時～11時

- 場 所 (図参照)

- 水に浮かぶもの

岩栗橋から松島橋の間

- すぐ沈むもの

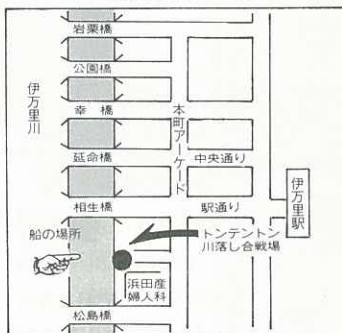
相生橋下流に船を準備し沖まで運びます。

し尿くみ取り

お盆休みのお知らせ

▶し尿 8月15日・16日

精霊流しの場所



婦人就業のための講習会

佐賀県婦人就業援助センターは、婦人が有利な条件で就職できるように講習会を開きます。

- 科 目 経理事務(中級)
- 日 時 9月20日～11月16日
週3日間 10時～15時15分
- 場 所 市民会館第2会議室
- 条 件 経理事務初級講座を

受講した人、日商簿記3級を取得している人

- 定 員 30人
- 受講料 無料(ただし、テキスト代は実費負担)
- 申込先 市民相談室
(☎2111内線 226)
- 締切り 8月31日(水)

警察官(B)採用試験

- 受付期間 8月15日
～9月14日
 - 受験資格 昭和36年4月2日から46年4月1日生まれの人
 - 1次試験 10月23日(日)
9時 佐賀工業高校
 - 採用予定 佐賀県 14人程度
他都府県 14人程度
- ※詳しいことは、伊万里警察署警務課まで(☎3144内線 211)

入国警備官募集(高卒)

- 受験資格 昭和40年4月2日から46年4月1日生まれの人
- 1次試験 10月16日(日)
- 試験地 福岡市など10都市
- 申込書請求先 福岡市博多区博多駅東2-11-1 人事院九州事務局(☎092-431-7733)
封筒の表に赤字で「入警請求」と書き、70円切手をはったあとで先明記の返信用封筒を同封。

平和の祈りを

8月9日は、長崎市に原子爆弾が投下された日です。

私たちは被災された方々のごめい福と43年を経過した今日も、なお原爆病で闘病生活を続けておられる多くの方々の一日も早い回復を願い、この平和がいつまでも続くことを望むものです。

8月9日、午前11時2分にサイレンを鳴らしますので、市民の皆さん、1分間の黙とうをささげましょう。

また、8月15日は終戦記念日です。戦争で亡くなられた多くの方々の霊を悼み、世界恒久の平和を祈念し、正午を期して1分間の黙とうをささげましょう。

ボランティアスクール

受講生募集

- 日 時 9月2日、9日、16日、21日、30日の5日間
13時30分～15時30分
- 場 所 伊万里公民館
- 定 員 30人
- 申込み 電話かかはがきで、市内立花台1丁目1番1号 伊万里市社会福祉協議会へ
(☎2111 内線 264)
- 締切り 8月27日(土)



武雄工事事務所 シンボルマーク募集

建設省武雄工事事務所が今年で開所30周年を迎えました。これを記念して、シンボルマークや写真、絵画を募集しています。

●シンボルマーク 武雄工事事務所全体を表現するものか、六角川、松浦川、嘉瀬川、有明海岸を表現するもの

○規格 B5～B4判程度

●写真

○テーマ 川や海の風物、造景、水生生物などをフレックシユな視点でとらえたもの

○規格 白黒かカラープリントでキャビネ判

●絵画

○テーマ 写真の部に同じ

○規格 自由

▶応募資格 制限なし

▶応募作品 1人何点でも応募可

▶応募票 工事事務所に準備

▶募集締切 9月16日(金)

▶応募先・問い合わせ先

建設省武雄工事事務所(〒843 武雄市武雄町大字武雄5304

☎0954②5151～5155内線 304)

今月の市民相談

場所：市民相談室10時～15時

無料・秘密厳守

●法律	4.18(木)
●社会保険	5.12.19.26(金)
●交通事故	9.23(火)
●行政	17(木)
●人権	5(松浦公民館)10(水)
●身障者	24(水)
●青少年	25(木)
●消費生活	1.8.15.22.29(月)
●婦人就業	3.10.17.24.31(水)

8月の市民会館行事

6日(土) 18時半	2000円
白竜コンサート	
20日(土) 18時半	800円
イマリムジカコンサート	
21日(日) 14時	500円
第5回いまり音楽祭	
26日(金) 14時	親子劇場オペラ
大1000円中高800円小以下500円	
28日(日) 10時半と13時	無料
エレクトーン・ピアノ発表会	

新築の大坪市営住宅 入居者募集

9月末完成予定の大坪市営住宅の入居者を募集します。

●入居予定時期 10月上旬

●申込受付期間 8月20日から
9月10日まで

●募集戸数 26戸

●規格 3DK

※申し込み用紙は市建設課住宅係に準備しています。

(☎②2111 内線 333)

企業活性化についての融資制度

特定地域対策臨時措置法により、中小企業者の企業活性化などに国から援助が受けられます。
(特別融資)

●貸付対象者 市内に店舗、工場または事業所を有し、同一事業を1年以上継続して行っている中小企業者

●貸付金利

○第1種中小企業者 年3.5%
(特定事業所等で最近の売上高が前年に比して20%以上減少していること。)

○第2種中小企業者 年4.2%
(第1種以外で10%以上売

上が減少していること。)

●貸付期間

○設備資金 10年以内

○運転資金 6年以内

●貸付限度額 8,000円(うち運転資金は3,500万円)以内

●融資機関 市内の金融機関

●保証料 0.75%(うち0.25%を市が補助します。)

このほか、専門的技術指導を受けることのできる加速的技術開発支援事業や雇用開発助成金制度などがあります。

※詳しいお尋ねは、市産業部不況対策室へ(☎②2111内線354)

児童扶養手当は

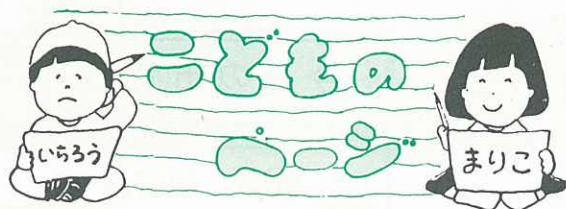
現況届を

児童扶養手当・特別児童扶養手当を受けている人は、8月期の手当を受け取った後、はがきで通知する指定日に、通知のはがきを持参して現況届を出してください。届け出が遅れると、次の支払期日に手当を受けられないことがあります。

※届け出は、市民課年金係へお願いします。

(☎②2111 内線 215)

◆道路がつなぐ街と人…8月は道路を守る月間。8月15日～27日 道路写真展 市役所1階



風と木と僕たちと

伊万里小学校に川久保むら開村

伊万里小学校(前田和茂校長、786人)に木登りや自然観察のできる「川久保むら」が完成し、子どもたちは大よろこび。

いつも見慣れている山や林。川や野原。今の子どもは、そんな自然の世界で遊ぶことが少ないようです。自然体験は身をもって安全や危険を知るだけでなく、子どもの夢をふくらませます。子どもたちに自然の中で、冒険心や好奇心を育てようと、同校育友会(重松清太郎会長)が昨年計画していたものです。

7月1日の午後、待望の入村式がありました。



ロープを伝って急坂登り



入村式には、152人の6年生が参加しました。先生から川久保むらの目的や利用するときの注意などがあり、児童長の平野恵子さんが「川久保さん、お父さん、お母さんありがとう。自然に親しみながら遊びや勉強ができるので、楽しみいっぱいです。約束を守り、いつまでも大事にします」とお礼の言葉を述べました。

さっそく3班に分かれて頂上へ。急な登り道を1本のロープを伝って、元気に登り始めま

川久保むらは…

川久保むらは、無償で山を貸した松島町の川久保 正さん(67)にあやかって名付けられました。運動場の東側に隣接する高さ約30メートルの雑木林を育友会が借りて、お父さんや先生たちで整備。3コースの登り道(総延長365メートル)や頂上の木を切った広場に丸太のベンチなどが作られています。

したが、すぐ息を切らしていました。なかには、滑ったり、転んだり、「手が痛い!」と言う子や男の子より上手に登る女の子もいました。頂上では、わんぱく坊主やおてんばの子が木に登り、みんなの歓声を浴びました。

